



## ご参観いただき、ありがとうございました



7日（金）と18日（火）は、参観・懇談会でした。

1～5年生は道徳科の授業を、6年生は国語科、太陽学級は合同運動会へ向けて体育科の授業を見ていただきました。

道徳科では、携帯電話の使い方から節度ある生活の在り方について考えたり、友達との接し方や互いを認め合うことの大切さについて考えたりする授業でした。1年生の「ぼくのしごと」は、今後、生活科の学習に発展していきます。子供達の中には、「友達のいろいろな考えをきけて楽しかった」という感想をもった子供もいました。

今年度から、道徳の時間が教科化されて道徳科となりました。教科書を使って、「思いやり」や「きまりの大切さ」、「家族」や「命」といったことについて考えていきます。なぜそれが大切か、よりよい行動をとっていくためには、どう考えればよいのか等を話し合うことを通して、将来、自分で判断し、よりよい生き方ができるようになることを目指しています。

教科化に伴い、道徳科の評価も実施することになります。国語科や算数科等の数値による評価とは違って、授業の中での様子やどんなことを考えたり気付いたりすることができたのかを、文章でお伝えします。道徳科の評価については、3学期のあゆみでお知らせします。



## 人間国宝の迫力に圧倒されました！

20日（木）に、芸術鑑賞会がありました。今年は「講談」。

まずは、1学期のワークショップで習った3つのお話を代表の子供達が披露しました。この日に向けて、指導を受けながら練習しただけあって、どの子供も迫力満点の講談を披露することができました。聞いているみんなも思わず引き込まれる出来栄えでびっくりでした。

なんととってもすごかったのは、人間国宝一龍斎貞水さんの立体会談「耳なし芳一」の講談です。難しいところは、ちょっと解説を加えながら、勢いよく話が進んでいきます。その話術にぐいぐい引き込まれていく子供達。日頃なかなか体験できない貴重な体験をすることができました。

